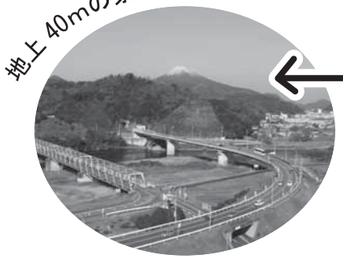
▲特殊工作車両
災害発生時に救助に役立つ様々な機械・道具を搭載した車両です。

人がいることがわかるよ！

カメラをのぞくと…

▲アルゴス
暗闇や煙の中で熱を感知して、建物に取り残された人を発見する特殊カメラです。

地上 40mの景色は絶景！



▲はしご車
高い建物に取り残された人を救助できます。はしごは、最大で地上高約 40m伸ばせます。

金属も切っちゃうよ！

▲エンジンカッター
金属を切断するカッター。シャッターなど救助や消火の妨げになるものを切断します。

いろんな車や機械があるんだよ

◀陽圧式化学防護服
毒ガスや病原体ウィルスなどの付着や吸引を防いでくれます。

タイヤがうらやま…

▲エアマイティ
車やがれきの下敷きになった人を助けるため使われる、空気の力でふくらます特殊なゴムのジャッキです。

木材ならお任せ！

▲カッターエッジチェーンソー
救助専用チェーンソー。柱などに含まれる釘や金物の金属も木材と一緒に切れます。

紹介しているのは車両や機械の一部です。
=3 このほかにも様々な種類があります。

どんなすごい車や機械を使っているの？

お仕事で困っていることは何？

救急車の出動件数が年々増加しているため、6台の救急車がすべて出動してしまう可能性があることだよ。

ちょっとしたことでも救急車を呼ぶ人がいると、本当に助けが必要な人のところへ救急車が行けなくなるおそれがあるんだ。軽いけがや病気、夜間でも診察してもらえる病院がわからない場合などは、病院の紹介もしているから、近くの消防署へ問い合わせてね。

また、火事や事故の現場では、色々な人が見物に集まって来るから、その人たちが事故に巻き込まれないように注意しなければならなくて困る場合があるんだ。現場は危ないから近寄らないでね。

あと、災害出動する消防車のサイレンを聞いて、119番に「何があったの?」って電話をかけてくる人がいるんだ。119番は緊急のための番号だから、災害などのお問い合わせは、災害情報案内（0558-77-2000）へ電話してくださいね。

119番は正しく利用してね

（電話番号）
田方北消防署
055−978−0119
田方中消防署
0558−76−0119
田方南消防署
0558−74−0119
西出張所
0558−98−0119

探検の最後に消防長のお話を聞いたよ！

石上寿夫消防長

田方地域では火災件数は減っていますが、高齢者の一酸化炭素中毒による死亡事故はなくなりません。同じ建物の住民が火災に気づかず逃げ遅れてしまったなど、火災警報機があれば助かったかもしれないという事件も報告されています。住宅用火災警報器の周知を進めて、火災による死亡事故0を目指していきます。

また豪雨や地震などの自然災害は予期せずに発生します。防災に大切なのは地域や近所、仲間との『絆』です。皆さんも阪神淡路大震災の教訓から学び、何かあったら助け合いましょう。

将来、消防署で働きたいと思っている子どもたちへ。消防士になるには、体を鍛えること以上に優しい心が大切です。困っている人に手を差し伸べられる優しい人になりましょう。

『夢』はかなえるものです。私たちは『日本一の消防署』を目指した結果、特別救助隊の全国大会でも毎年優秀な成績を収めるほど高い救助能力を持つようになりました。これからは技術に加え、日本一の『まごころのある』消防署を実現させていきます。

将来に向けた駿東伊豆地区の消防救急広域化が進められる中、これからも変わらず皆さんに信頼される田方消防署であり続けたいと思います。

ありがとうございました！